

事務事業名		船生小学校屋内運動場改築事業				<input type="checkbox"/> 実施計画計上事業	
総合計画	政策名			所属課	学校教育課	担当	学校教育担当
	施策名			課長名	大島福男	主担当者名	鈴木啓市
予算科目		会計	款	項	目	事業コード	事業コード名
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 ( 23 年度～ 25 年度)		関係法令・条例等	
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		○老朽化し、耐震性が不安(耐震簡易診断Is値0.3未満)な船生小学校屋内運動場(昭和52年建築)を学校施設整備計画における年次計画に沿って改築する。					

1 担当課の第1案(PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) H23年度に施設の体力度調査を行い、危険建築物と判断された場合、国庫補助(文科省)を活用し改築する。	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) H23年度に統合先となる船生小学校の児童及び教職員。また夜間、学校施設開放及び広域避難所として活用が見込まれる一般市民	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載) 安全で、適切な学校環境を提供する。	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

(2) 指標・総事業費の推移								
	単位	平成22年度 (計画)	平成23年度 (目標)	平成24年度 (目標)	平成25年度 (目標)	平成26年度 (目標)	平成27年度 前期基本計画 最終年度	
活動指標	ア 時間/年	2,200	2,200	2,200	2,200	2,400	2,400	
	イ 時間/年	1,320	1,320	1,320	1,320	1,760	1,760	
	ウ							
対象指標	ア 人	173	160	164	157	157	142	
	イ 人	43	20	20	20	18	18	
	ウ							
成果指標	ア 目標値	%	25	25	25	80	90	
	イ 実績値	%						
	ウ 目標値	%	40	40	40	80	90	
	イ 実績値	%						
	ウ 目標値							
	イ 実績値							
投入量	事業費	国庫支出金	千円	500	4,000	40,000		
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
	事業費計(A)	千円	0	1,500	12,000	185,000	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間		80	160	240	30
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	1,500	12,000	185,000	0	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を新たに企画した背景は何か？ H23年度より船生地区小学校が統合され、小学校3校となるが、船生小学校以外の屋内運動場は耐震改修を行い、施設の安全性及び利便性が高いが、船生小学校屋内運動場については、施設そのものが老朽化し耐震性も確保されていない状況であり、現状を考慮すると耐震改修ではなく改築する必要があると判断できるため	
② この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 毎年、学校施設等における要望が学校並びにPTA連絡協議会からあり、船生小学校の屋内運動場が抱える現状をより良いものとしてほしいとの声がある。	

事務事業名	船生小学校屋内運動場改築事業	所属課	学校教育課	担当	学校教育担当
-------	----------------	-----	-------	----	--------

## 2 事前評価信(PLAN)

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	学校施設の安全性や利便性を高めることは、町民(児童、生徒、教職員及び一般町民)にとっても重要な政策であり、町の公共施設であり財産であるため、公共の関与は妥当である。
有効性 評価	② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	学校施設として老朽化しており、安全性と利便性の確保等を考慮すると、学校施設整備計画に沿った整備、改修を年次計画に基づいて実施する必要がある。
効率性 評価	③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	国庫補助(文科省)制度要綱及び近隣の整備状況を参考に事業費を算出
公平性 評価	④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	学校施設であり、年次計画による各学校のバランスを重視した町の政策としての位置付けであり、公平性は考慮されている。

## 3 事前評価結果

(1) 事前評価者としての評価結果	
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
(2) 事前評価結果の根拠と指示事項	
(3) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(4) 採択条件	